



でーじ
わかりやすい！



よさんのはなし



平成25年7月

沖縄市

でーじわかりやすい! よさんのはなし

も く じ

1. よさんのキホン	1
2. 平成25年度沖縄市一般会計歳入予算	2
3. H25ごやさんちの家計簿 入ってくるお金 編	3
4. 平成25年度沖縄市一般会計歳出予算(性質別)	4
5. H25ごやさんちの家計簿 出ていくお金 編	5
6. 平成25年度沖縄市一般会計歳出予算(目的別)	6
7. 平成25年度沖縄市一般会計歳出予算 1ヶ月50万円 編	7
8. よさんのなかみ(目的別)	8
9. 特別会計のはなし	10
10. 借金のはなし	12
11. ことのまちづくり	14
12. よさんがワカッタ!	41

1. よさんのキホン

まずは「よさんのキホン」について。「よさん」は漢字で書くと、「予算」だよね。ん～なんかそれだけで数字がいっぱいあっておずかしそうなイメージだし、自分には関係ないやって思ってる人！

でもね、ぼくたちが生活していくうえでは、とても大事で必要なものなんだ。だからみんなも「予算」について一緒に勉強してみよう！

Q. で、「予算」って何？

A. 「予算」とは、みんなの生活を豊かにして、安心して暮らせるようにするために、1年間でどんなことにどのくらいのお金が必要かを計画することだよ。

Q. 「予算」はどうやって決めるの？

A. 市長がみんなの意見や頼みごとを聴いて予算案をつくり、みんなの代表者(議会)が話し合っ、1年間のお金の使い道を決めているんだよ。

Q. 「予算」の中身はどうなってるの？

A. 「予算」には大きく分けて、一般会計と特別会計の2種類があるんだよ。一般会計が父ちゃんのサイフ、特別会計がこどもたちのサイフって感じかな。それぞれ1年間にいくらお金が入ってくるの？いくら使うの？などをくわしく書いた「予算書」というものがあるんだけど、今からこの「予算書」の中身について見ていくことにするよ。

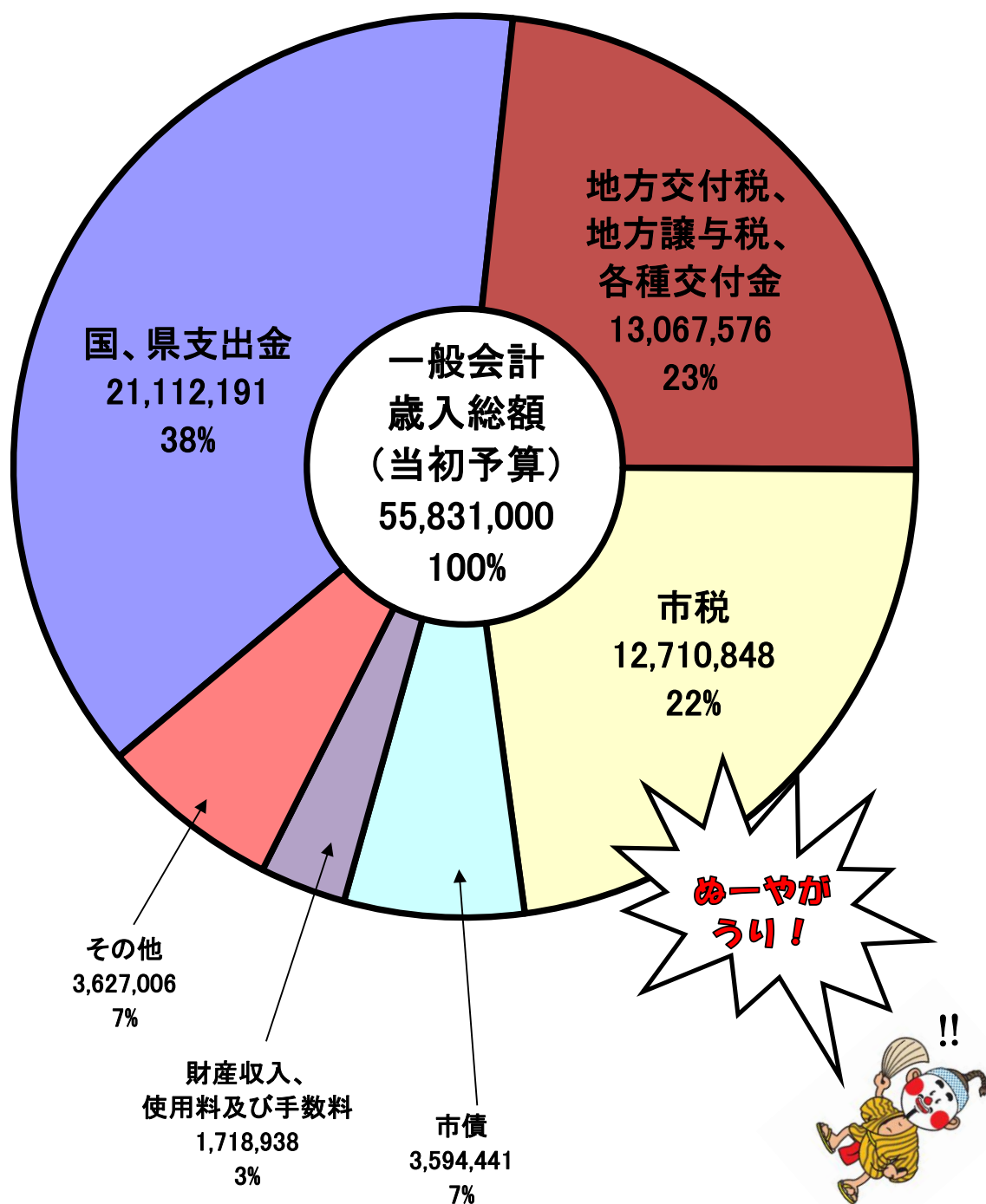
で～じ
かんたんやっさ～



2. 平成25年度沖縄市一般会計歳入予算

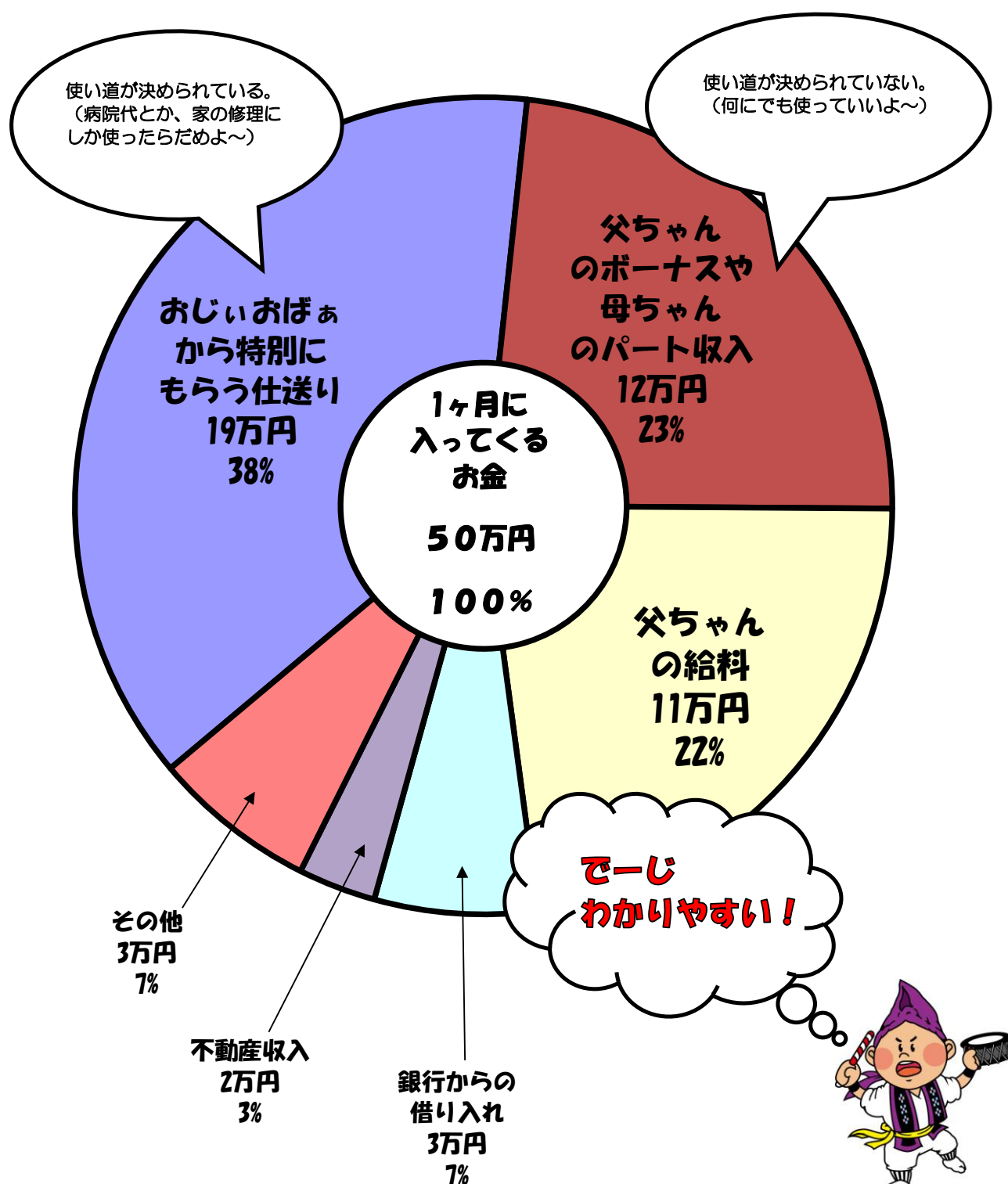
まずは父ちゃんのサイフ、一般会計の歳入について。
なんかいきなりむずかしいのがでてきた…。そう思ってる人！
じゃあ次のページでわかりやすくしてみよう！

(単位: 千円)



3. H25ごやさんちの家計簿 入ってくるお金編

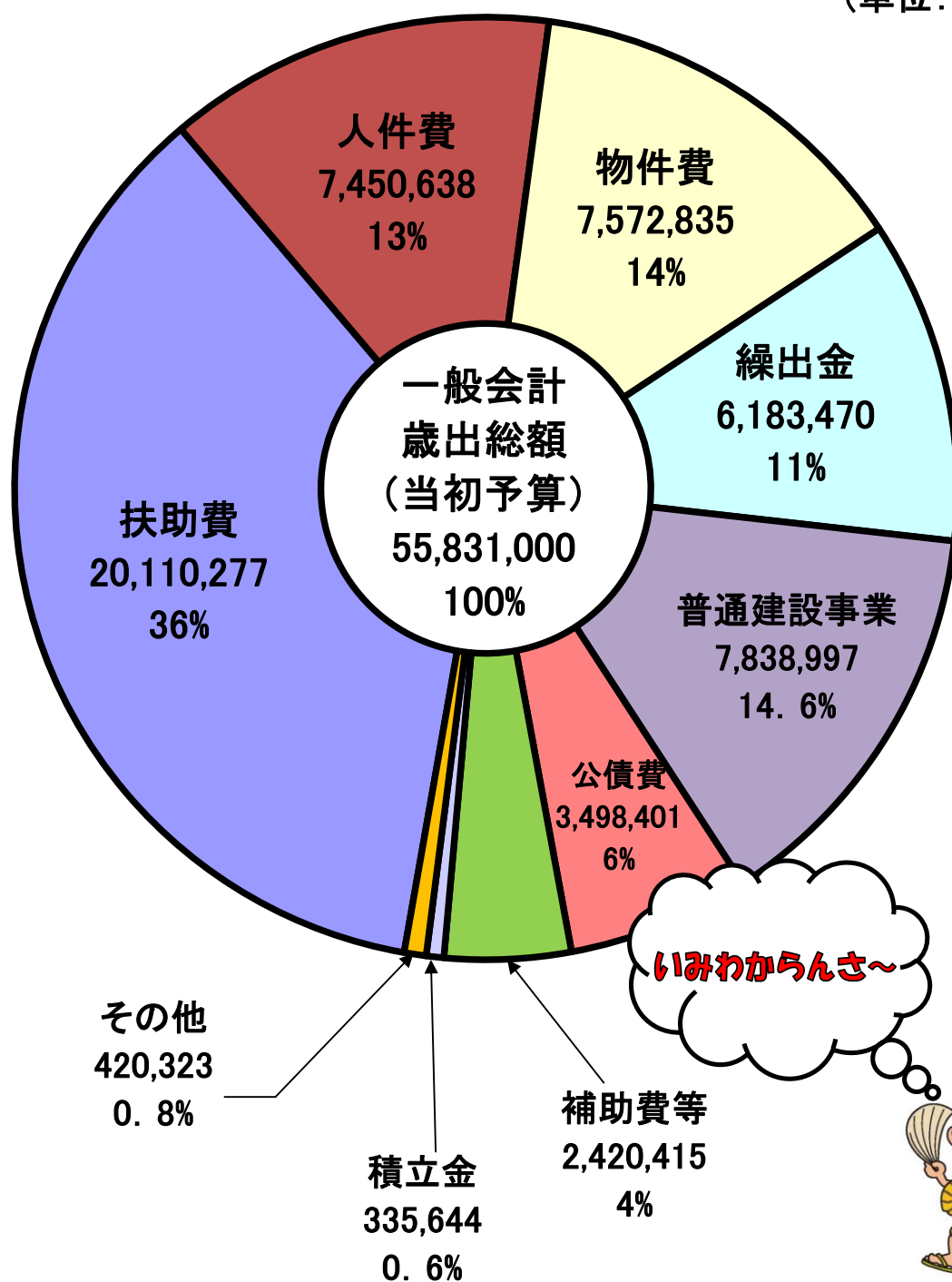
ごやさんちに入ってくるお金が1ヶ月に50万円だったら？として計算してみたよ。どうだろう。けっこうわかりやすくなったでしょ？



4. 平成25年度沖縄市一般会計歳出予算 (性質別)

次は歳出。でもやっぱりわかりにくい！

(単位: 千円)

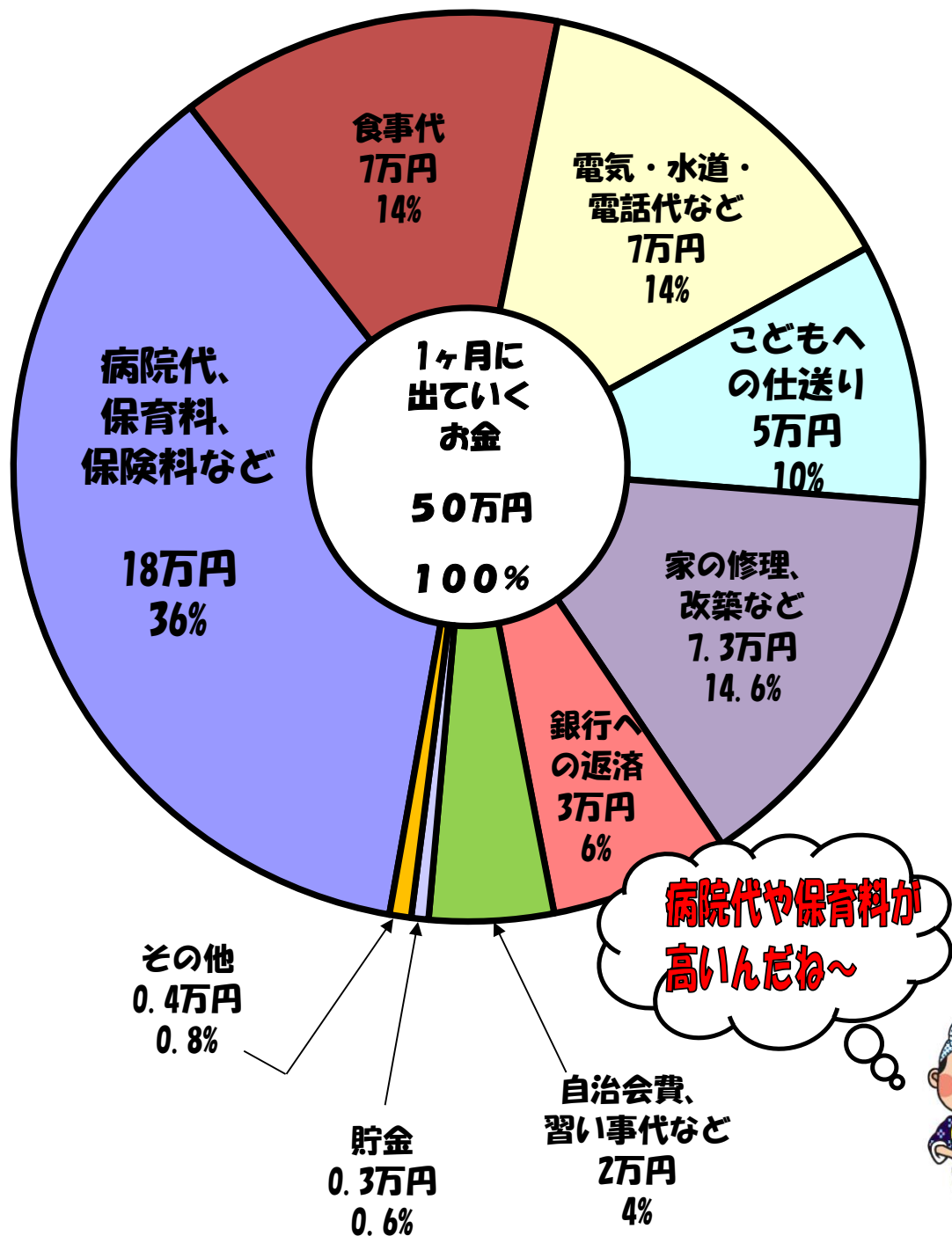


いみわからんさ~



5. H25 ごやさんちの家計簿 出ていくお金編

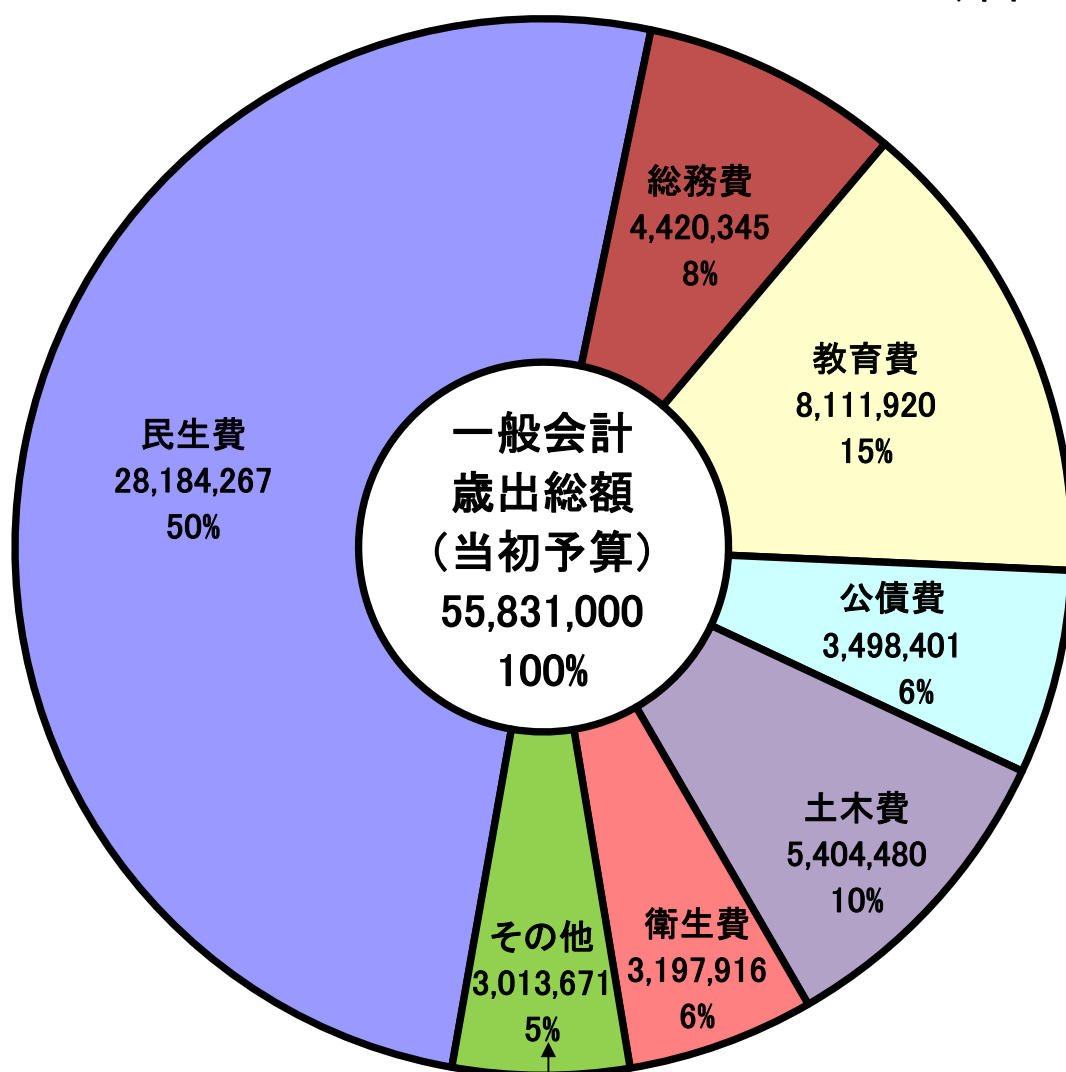
どうかな？ごやさんちは病院代や保険料、保育料にお金がかかっているんだってことがわかったね。



6. 平成25年度沖縄市一般会計歳出予算 (目的別)

次は出ていくお金を「目的別」という区分で分けてみたよ。
ん～でもやっぱりわかりにくいから、次のページでもうちょっとわかりやすくしてみよう！

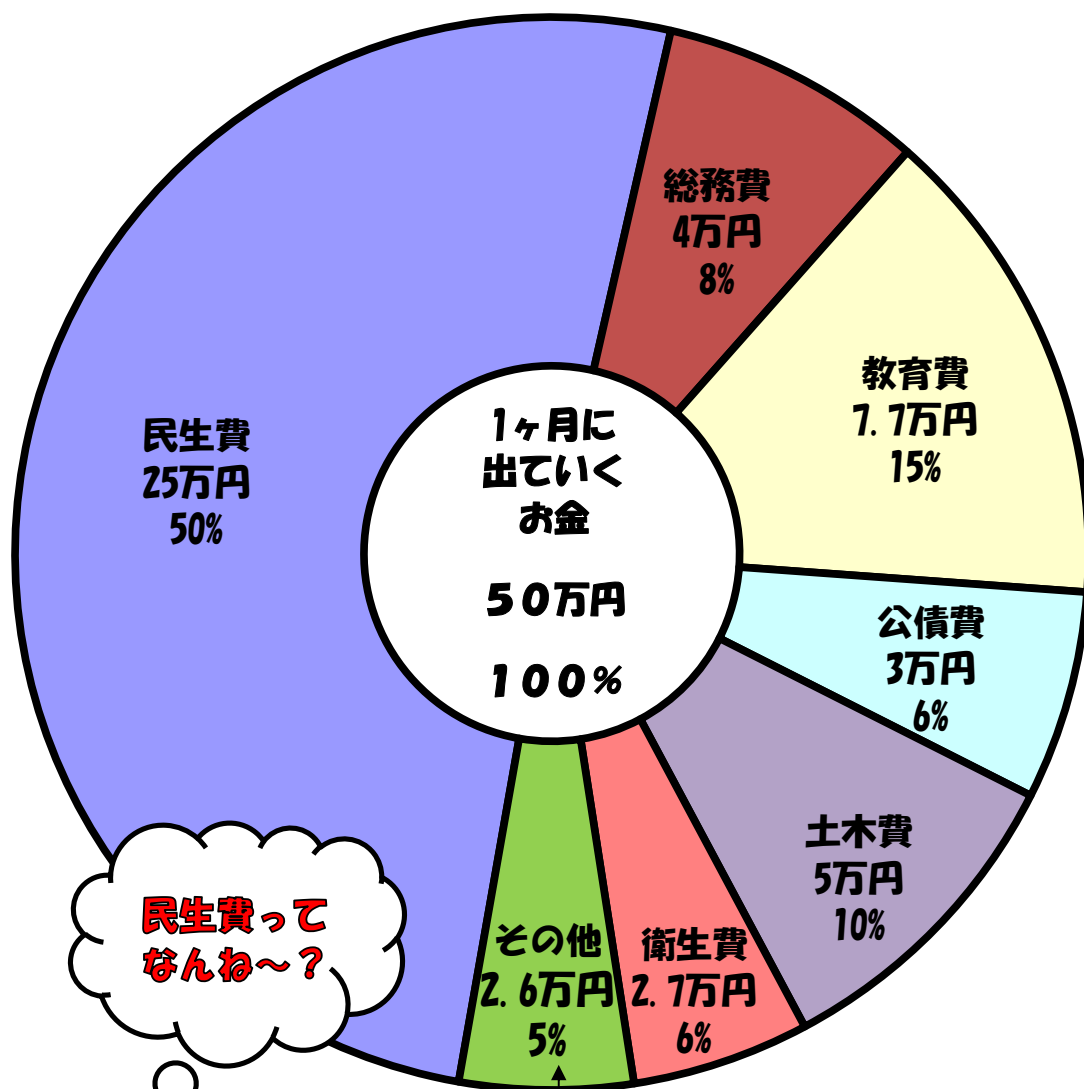
(単位: 千円)



消防費	892,444	1.5%
商工費	1,095,351	1.9%
議会費	410,996	0.7%
農林水産業費	311,563	0.5%
労働費	143,313	0.2%
予備費	160,000	0.2%

7. 平成25年度沖縄市一般会計歳出予算 1ヶ月50万円編

さっきと同じく、1ヶ月に出ていくお金が50万円だったら？として計算してみたよ。まだまだわかりにくい？じゃあ、次のページでもっと中身をくわしく見てみよう！



民生費って
なんね～？



消防費	8千円	1.6%
商工費	8千円	1.6%
議会費	4千円	0.8%
農林水産業費	3千円	0.6%
労働費	1千円	0.2%
予備費	2千円	0.3%

8. よさんのなかみ (目的別)

民生費
25万円
50%

こどもたちやお年寄り、障がい者が安心して暮せるためや、収入の少ない人を助けるために使われているよ。



総務費
4万円
8%

みんなから税金を集めたい、住民登録をしたいなどなど、他の予算に入らないものに使われているよ。



教育費
1.1万円
15%

幼稚園、小学校、中学校の校舎を建てたい、壊れたところをなおしたい、その他、スポーツ施設や図書館、博物館のために使われているよ。



公債費
3万円
6%

学校や道路、公園を作るときに借ったお金を返すために使われているよ。



土木費
5万円
10%

道路や公園、団地を作ったり、壊れたところをなおしたいすることに使われているよ。



衛生費
2.7万円
6%

みんなの健康を守ったり、ごみを集めたい環境を守ることに使われているよ。



消防費
8千円
1.6%

火事や災害、けがや事故からみんなを守るために使われているよ。



商工費
8千円
1.6%

商店街や、ものづくりの応援をしたい、祭りを開催したい、沖縄市を盛り上げるために使われているよ。



議会費
農林水産費
労働費
予備費
1万円
1.8%

みんなから集めたお金を何に使うかなどの会議を開いたり、農業や漁業の応援や働く人のために使われているよ。



全部で
50万円
100%

9. 特別会計のはなし

次は特別会計について。前のページまでは父ちゃんのサイフ、一般会計のはなしだったけど、今度は特別会計についてのはなしだよ。

Q. で、特別会計ってなに？

A. 一般会計が父ちゃんのサイフ、特別会計がこどもたちのサイフって感じかな。父ちゃんのサイフとこどもたちのサイフを別々に分けて使っているんだよ。

Q. なんで分けるの？

A. 例えばみんながアルバイトをしてかせいだお金、父ちゃんに全部あげるよりは自分で使いたいよね。そのほうがどこからいくらかせいで、何に使ったかがわかりやすくなるし、自分で責任もって使うからね。でもどうしても足りない場合には、父ちゃんのサイフから出しているんだよ。

Q. こどもたちのサイフ(特別会計)はいくつあるの？

A. こどもたちのサイフ(特別会計)は全部で6つ。それぞれ何のために使うのかちゃんと目的があって、予算の金額もさまざまなんだよ。次のページでその6つの種類を見てみよう。

え~とうちゃん！
じんが足らんしが！

わんにん
ねーんしが…。



特別会計の種類

ことしの予算

①国民健康保険事業

183億円

②介護保険事業

80億円

③水道事業会計

37億円

④下水道事業

33億円

⑤後期高齢者医療事業

11億円

⑥土地区画整理事業

4億7,000万円

全部で

349億円

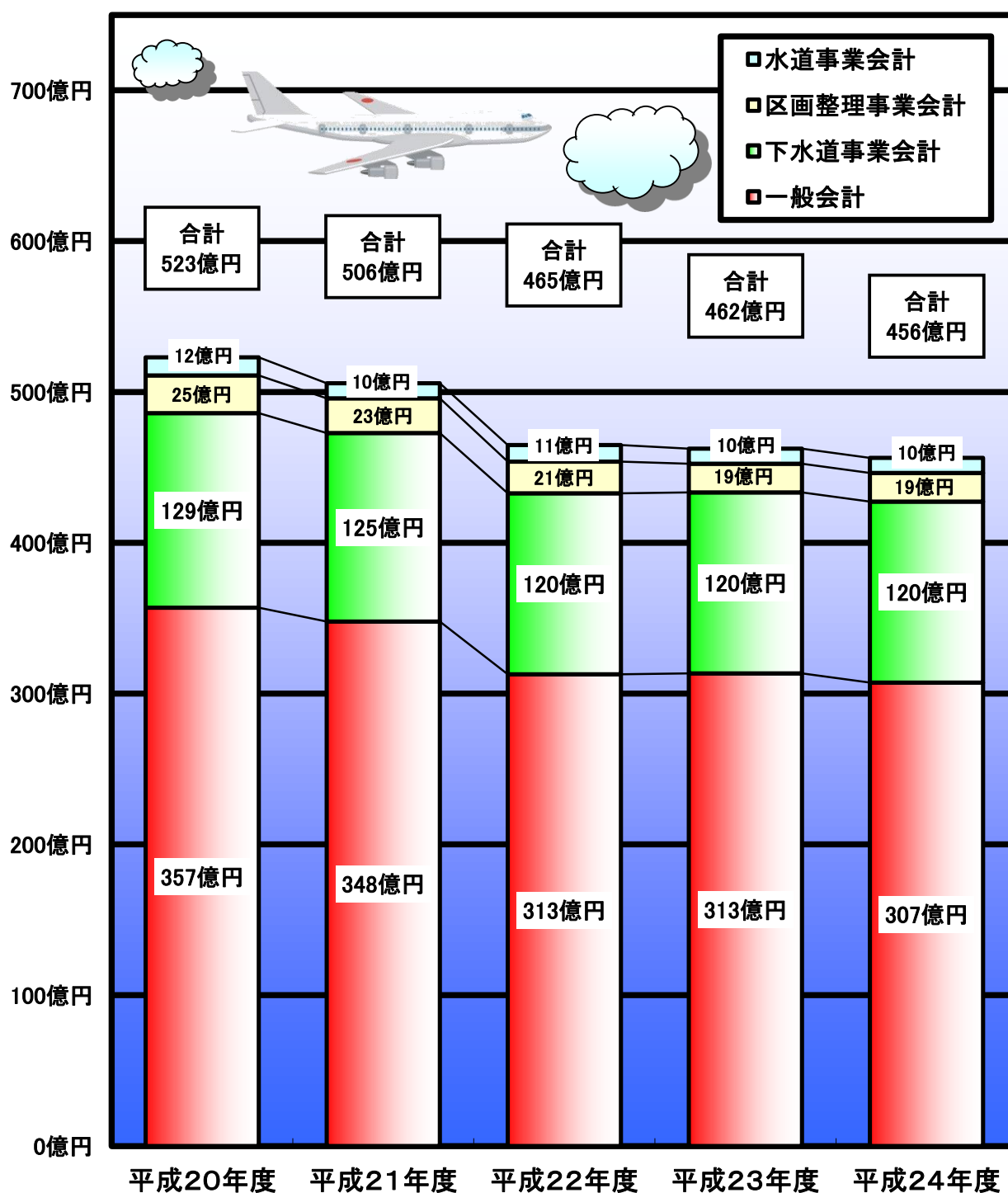
ちなみに父ちゃんの
サイフは560億円。
ってことは、こども
たちのサイフ全部の
約1.6倍だね。



10. 借金のはなし

次は借金のはなし。沖縄市では平成24年度末で約460億円の借金(!)があるんだよ。

地方債現在高の状況



Q. なんで借金をするの？

A. 予算はみんなの会費(税金)や、国からもらうお金などで成り立っているんだけど、それだけでは足りないことがあるから借っているんだよ。

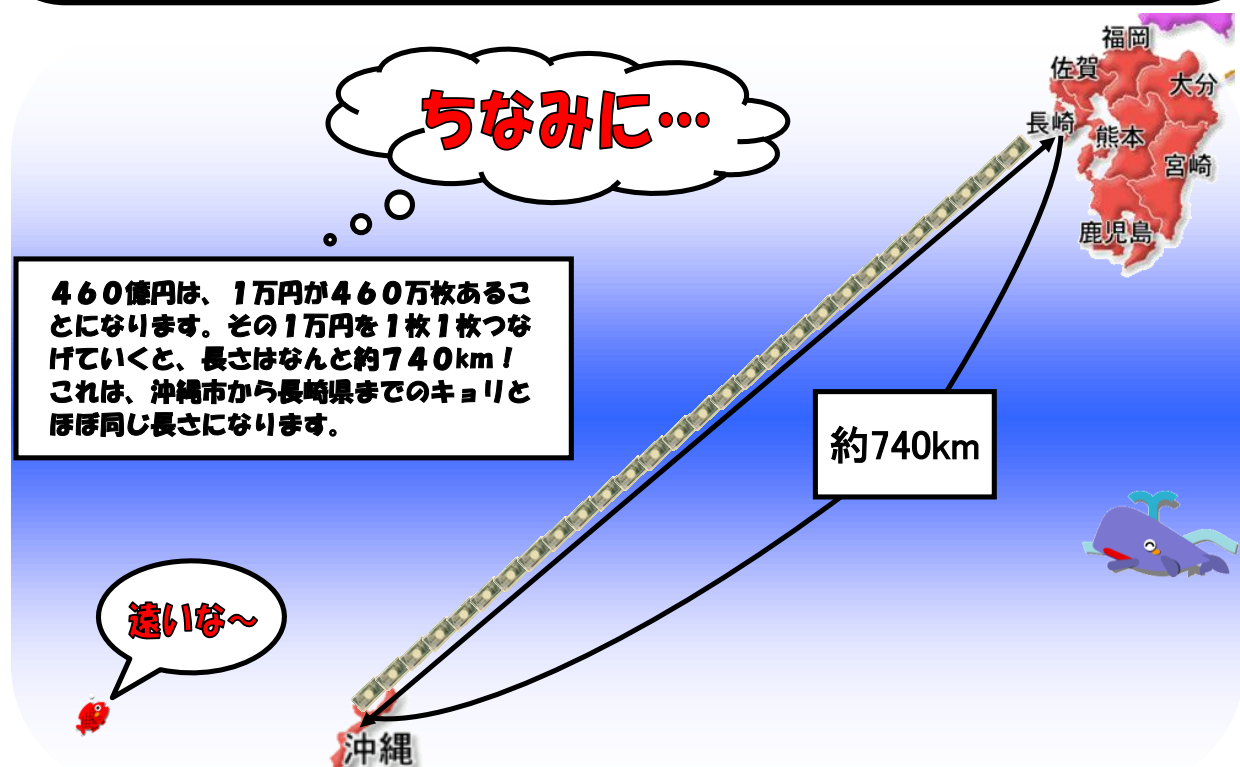
Q. なんでお金が足りないの？

A. 例えばみんながお家を建てる時に、1年間に入ってくるお金だけで建てようとしても、足りないことがあるよね(1年の収入が400万円だけど、おうちが4,000万円もしたい...)。でもみんなに必要な建物(学校や団地などなど)が古くなったり使えなくなったりして、どうしても建てないといけない時には国や銀行などからお金を借って建てるんだよ。

Q. 借金は悪いこと？

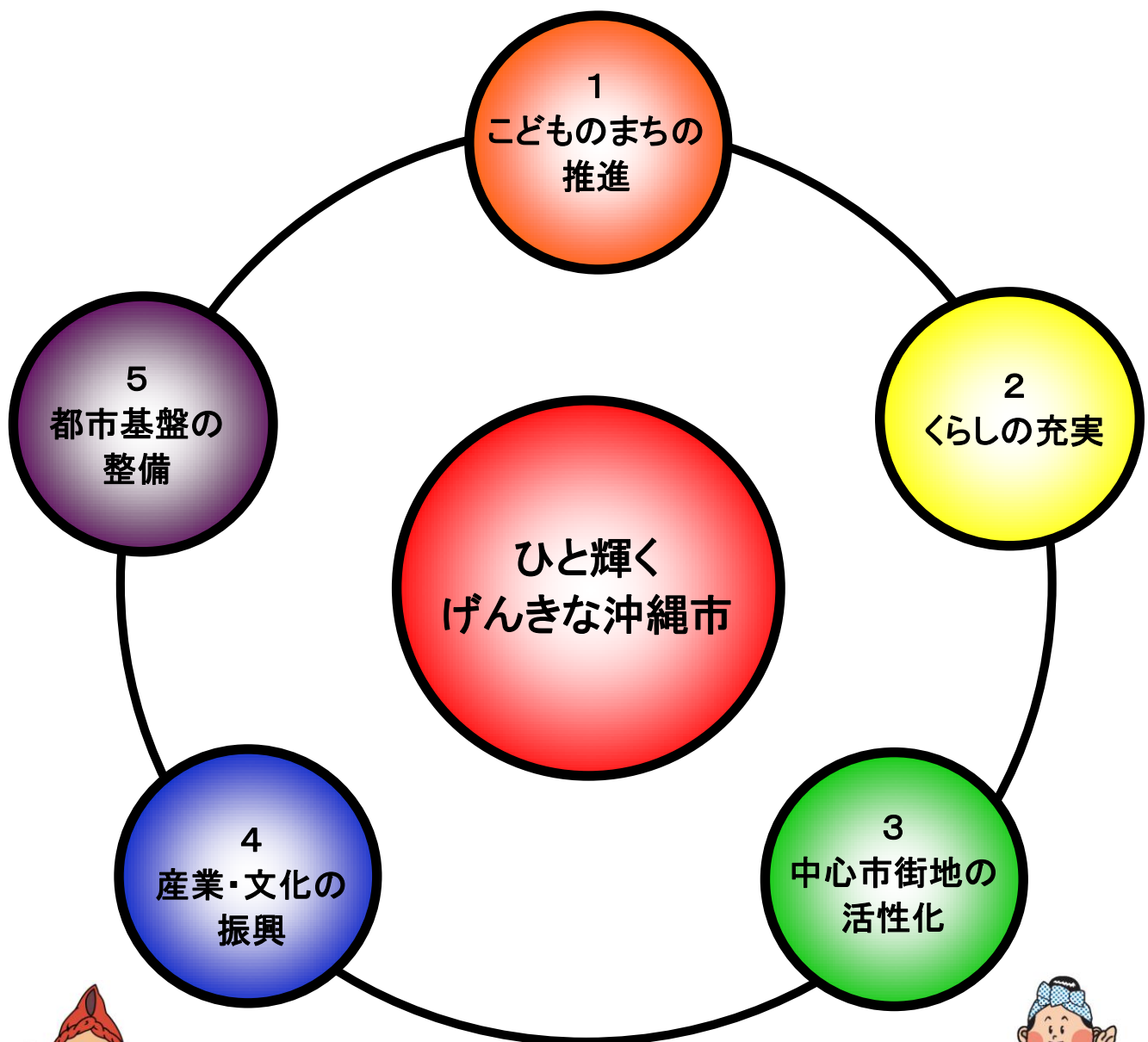
A. 例えば学校を作ったら、この学校はみんなが大人になったあとにも、また次のこともたちが使えるよね。そうやって何十年も使うものだから、今使っている人だけで建てるお金をまかなうんじゃなくて、次の人、また次の人たちにもちょっとずつまかなってもらうためには必要なことだから、決して悪いことばかりではないんだよ。国や銀行などからお金を借って、ちょっとずつ返していくのを、使う人みんなから平等に払ってもらおうってことなんだ。

だけど、借金である事に変わりはないから、将来の負担が重くないすぎないように計画的な借入を行なっているんだよ。



11. ことしのまちづくり

次はことしのまちづくりについて。沖縄市では「ひと輝く げんきな沖縄市」をめざして、5つの重点的な方針をもってまちづくりをしているんだよ。内容が少しむずかしくなるけど、がんばって読んでみてね！



こどものまちすいしんじぎょう

こどものまち推進事業**・・・約500万円**

こどもたちが夢にむかって元気にたくましく育つ環境をつくり、こどもたちの主体的な活動をまち全体で応援するため、沖縄こどもの国を拠点にした、こどものまち関連施策を展開します。

おきなわこどものくにしせつせいびじぎょう

沖縄こどもの国施設整備事業**・・・約4億円**

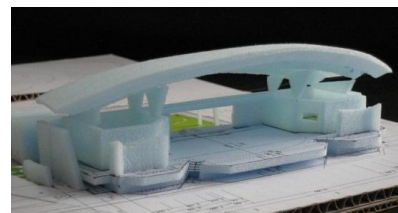
沖縄こどもの国公園がこどもたちの知恵や感性、想像力を育む場となり、また大人にとっても心安らぐ憩いの場となり地域の発展につながる公園を目指します。平成25年度は琉球弧動物展示施設および野外ステージの整備を行います。

＜琉球弧動物展示施設＞

沖縄に昔から生息する動物の展示をし、身近な動物の生態を学ぶことができます。在来動物の維持・繁殖につながり、文化の継承をおこないます。

＜野外ステージ＞

老朽化したステージを、より使いやすいステージに建替えることで、イベント時の効率的な運営を推進するとともに、日常的に活用できるように整備をおこないます。



こくさいじどう・せいしょうねんえんげきふえすていはるおきなわ
すいしんじぎょう

国際児童・青少年演劇フェスティバル おきなわ推進事業・・・約9,000万円

こどもたちの為の演劇フェスティバルとして、世界の優れた演劇を沖縄市に一同に集めた「国際児童・青少年演劇フェスティバル（キジムナーフェスタ）」を開催しています。

毎年夏休みの時期に合わせ、約9日間の日程で、世界各国から選りすぐりの素晴らしいステージが、市民会館を中心に繰り広げられます。その他にもセミナーやシンポジウム、ワークショップ等、毎年多彩なプログラムが盛りだくさんのイベントです。

キジムナーフェスタ



こんにちはあかちゃんじぎょう

こんにちは赤ちゃん事業

・・・約1,100万円

育児の不安が高くなる生後4カ月未満の乳児を持つ子育て家庭に対して、家庭訪問を実施し、親子の心身の状況や養育環境の確認とアドバイスを行うことで、乳幼児がいる家庭の孤立を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的としています。

こどもいりょうひじょせいじぎょう

こども医療費助成事業

・・・約2億8,000万円

この制度は、こどもたちが元気で丈夫に育つことを願って、保護者が病院で支払う医療費の一部を沖縄市が助成するものです。

4歳児までの入院・通院と、5歳児から中学生までの入院が対象となっています。

にんかがいほいくしせつじどうえんごひほじょきん

認可外保育施設児童援護費補助金

・・・約1,900万円

沖縄県では、復帰前の米軍統治下時代に認可保育所の整備が遅れたため、働く親の保育の担い手として多くの認可外保育施設が設置されました。しかしながら、未だに認可保育所の数が足りないため、認可保育所を希望しても入所できずに認可外保育施設へ通っている児童がいます。

そのため、認可外保育施設に入所している児童の保育環境の向上を図るために、児童一人当たり予算の範囲内（平成24年度は1人当たり11,000円/年）で補助を行っています。

むろかわようちえんえんしゃしんぞうかいちくじぎょう

室川幼稚園園舎新增改築事業

・・・約2,900万円

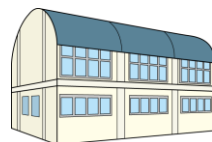
室川幼稚園の園舎は、昭和51年に建設されてとても古くなっていることから、平成25年度に設計等を行い、平成26年度から建替えのための建設工事を行う予定です。



なかのまちしょうがっこうしんぞうかいちくじぎょう

中の町小学校新增改築事業

・・・約9,200万円



中の町小学校の体育館・校舎は昭和43年から昭和56年にかけて建設され、とても古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所となっていることから、子どもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建替えられることになりました。

- ・平成25年度：学校の設計
- ・平成26年～27年：建設工事

新しい校舎は平成28年4月からスタートを予定しています。

みさとしょうがっこうしんぞうかいちくじぎょう

美里小学校新增改築事業

・・・約11億700万円

美里小学校校舎は昭和39～56年に建設され、とても古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するため建て替えられることになりました。

平成25年度末には完成し、平成26年4月から新しい学校のスタートを予定しています。



だいさんちょうりじょうかいちくじぎょう

第3調理場改築事業

・・・約7億5,900万円

現在の第3調理場は建設されて30年が経過し、施設は古く狭いため、建て替えの工事をし平成25年度中には完成予定です。新たな調理場は、現在より2,000食増えて6,000食まで対応することができ、アレルギー専用の調理室が設置されます。近代的・効率的・衛生的な給食施設に生まれ変わります。

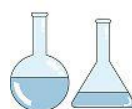
こどもかがくりよくいくせいじぎょう

こども科学力育成事業

・・・約3,800万円

こどもたちの理科ばなれが大きな問題となっています。

そこで「驚きと発見」をキーワードに沖縄こどもの国でワークショップや科学実験イベント、学校に出向いての講座等を行い、児童生徒が自ら理科の楽しさを体験できるような取り組みを進めています。

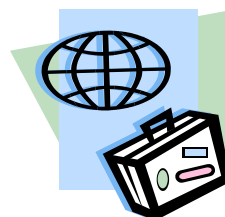


ちゅうがくせいかいがいたんきほーむすていはけんじぎょう

中学生海外短期ホームステイ派遣事業

・・・約1,200万円

国際化が進むなか、将来を担う人材を育てるため、各中学校からの推薦による生徒を、外国の文化に触れて体験できる機会を創出するため、海外短期ホームステイにかかる費用の助成を行い、生徒の語学学習への意欲を高めることにより、将来活躍できる人材を育てることを目指しています。



とくべつしえんきょういくじぎょう

特別支援教育事業・・・約7,000万円

障がいのある子一人一人が必要とする学校の授業で分からないことなどをサポートするため、教育介助者（ヘルパー）と教育補助者を配置し、障がいのある子に対する教育の充実を目指しています。

ほうかごこどもきょうしつすいしんじぎょう

放課後子ども教室推進事業

・・・約1,100万円

こどもたちに安全・安心な居場所を作る目的で、放課後に小学校の余裕教室や地域連携室などを使い、地域の人達が、こどもたちの宿題や本読みを手伝ってあげたり、あるいは三線を教えたり、色々な体験活動の場を提供する事業です。市内の小学校16校で実施しています。



がっこうしえんちいきほんぶじぎょう

学校支援地域本部事業

・・・約2,800万円



こどもたちを学校だけでなく地域全体で育むために、市内全小中学校に学校支援地域本部を設置し、学校と地域の学校支援ボランティア（地域人材）を結ぶコーディネーターを配置して、学校・こどもたちを支援する事業です。こどもたちは地域の方々と触れ合うことでいろいろな知識が身に付き、先生方はボランティアのおかげでこどもたちと触れ合う時間を多く持てる。地域の方々（ボランティア）にとっては、自分の学んだこと、持っている知識・経験等を発揮できる事業です。

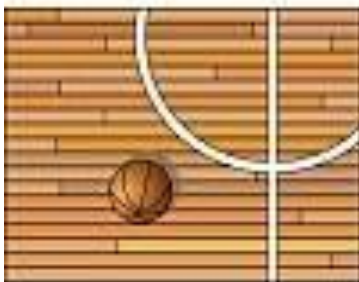
としじどうけんぜんいくせいじぎょう

都市児童健全育成事業

…約1億3,000万円

小学生が、放課後の時間を安心・安全に過ごせるよう、適切な遊びや生活の場を確保するための事業です。

放課後児童クラブ（学童クラブ）へ運営費を補助し、助言・指導等を通して質の向上を図ったり、公民館等を活用して様々な遊びを提供する出前児童館を実施しています。



しゅうろうしえんせんたーうんえいじぎょう

就労支援センター運営事業

・・・約4,400万円

お仕事を探している方やさまざまな状況にあり（一般・子育て世代・障がい者）、お仕事に対する悩みや不安を抱えている方に対して、専門の相談員が相談者のペースに合わせて、お仕事探しをお手伝いします。また、お仕事に活用できるセミナーや講座も開催しています。

じゃくねんしゃしゅうろうとうしえんじぎょう

若年者就労等支援事業

・・・約2,800万円

中学校卒業程度から39歳までの沖縄市内の若者を対象に就労支援を行います。不登校・ひきこもり・ニート等の家族だけでは解決が難しい問題を抱える親や本人に、専門の相談員等が家庭訪問します。そして、必要に応じてカウンセリングや学習支援、ジョブトレーニングを実施します。また、若者の仕事に対する就労意欲の向上を目的とした市内の公民館等で巡回型の就労相談や企業説明会、セミナー等を開催しています。

ほけんりょうげんめんじぎょう

保険料減免事業

・・・約440万円

収入が少なく国民健康保険の保険料が納められず困っている人は、保険料を安くできる場合があるので、その人達のために保険料を安くするための計算などを行っています。

けんこうづくりすいしんじぎょう

健康づくり推進事業

・・・約1,000万円

生活習慣病を予防するため、市民の健康づくりを進める事業を行っています。

多くの方へ健康づくりの大切さを伝えるための講演会、メールを活用し気軽に楽しみながらチャレンジする「3cm 3kg減らそうチャレンジ活動」などがあります。

また、市民一人ひとりが「生き生きと健やかに暮らしていく」ことを目指し、2018年までに達成したい目標と、取り組んでいくことを決める「沖縄市健康増進計画」を作ります。

健康づくりキャラクター「おきはくん」も健康づくりのお手伝いをしています。



しょくいくすいしんじぎょう

食育推進事業・・・約730万円

食を通して「生きるちから・しみんの健康・ゆたかな環境」を目指し、学校や農林水産業、保健が一緒になって、親子の料理教室や中学生への学習会、調理実習などに取り組み食育を進めています。

また、「食」と「健康」の大切さを考え、こどもから大人まで生涯にわたって健康で豊かな生活の実現を目指した「沖縄市食育推進計画」を作ります。



ちいきぼうさいたいさくじぎょう

地域防災対策事業・・・約9,200万円

色々な災害から市民の生命・財産を守るため、沖縄市地域防災計画と第4次沖縄市総合計画に基づき、災害に強いまちづくりを推進します。

台風や地震、津波等に関する防災情報を、市民に早く、正しく伝え安全を確保するため、防災行政無線のデジタル化に取り組んでいます。

また、地震・津波災害に備え、津波避難ビルや避難場所を確保し、災害用備蓄品（生活必需品、食糧、飲料水等）の整備をおこなっています。

自主防災組織の結成及び育成を行い、地域防災力強化と防災意識の高揚を図り、防災資機材の整備を行います。

おきなわしみんへいわのひ20しゅうねんきねんぎょうじじぎょう

沖縄市民平和の日20周年記念行事事業 ・・・約1,100万円

1945年（昭和20年）9月7日、旧越来村森根（現在の嘉手納空軍基地内）において、日本とアメリカの間で沖縄戦の降伏調印式が行われ、公式に沖縄戦が終結したことから、平成5年より沖縄戦終結となる9月7日を「沖縄市民平和の日」と条例で定め、以来、市民に周知を図るさまざまな行事を展開してきました。

平成25年度は「沖縄市民平和の日を定める条例」の施行から20年の節目を迎えることから、平和を尊ぶ市民の心を継承し、市民自らの平和と向き合い、考える場の創出を図ること、更に市内外に「沖縄市民平和の日を定める条例」への取り組みを広く発信することを目的に、「沖縄市民平和の日条例制定20周年記念行事」を開催します。

あげだしえいじゅうたくたてかえじぎょう

安慶田市営住宅建替事業

…約6億1,000万円

安慶田市営住宅は約40年前に建てられました。建物が古くなったため、現在の市営住宅から新しい市営住宅へと建て替えを行います。

＜事業概要＞

(1) 住宅建設：約198戸

(2) 事業期間：平成23年度～29年度



おんだんかたいさくすいしんじぎょう

温暖化対策推進事業…約2,200万円

地球温暖化への対策として電気をなるべく使わないことが大切です。また、発電のためになるべく石油・石炭を燃やさないことも大切です。

そこで、「地球環境にやさしいまち」をめざし、なるべく多くの住宅に太陽光で発電する設備が設置されるようにしたり、燃料の消費をなるべく抑える運転をすすめたりすることなどにより、温室効果ガスを減らすための取り組みをおこなっています。

3

中心市街地の活性化

ちゅうしんしがいちじゅんかんばすじぎょう

中心市街地循環バス事業

・・・約3,300万円

中心市街地である商店街やミュージックタウン、コザ運動公園、沖縄こどもの国などいろんな施設を気軽に巡ることができ、また中心市街地に暮らす人々の生活が便利になることで、多くの人々がにぎわい魅力ある街にすることを目的に、沖縄市の主な施設を結ぶ循環バスを運行しています。

平成24年度までは実験的に運行しましたが、多くの人々に利用されてきたため、平成25年4月1日からは、本格的な事業として本格運行になりました。



ちゅうしんしがいちかっせいかしえんじぎょう

中心市街地活性化支援事業

・・・約1,700万円

中心市街地活性化とは、市の「顔」であるまちの中心に、にぎわいを取り戻そうとすることです。

現在の沖縄市の中心市街地は、周辺の市町村の開発などにより、商店街や大通りなどで空き店舗が増え、いろいろな施設がまちの外へ出ていき、住む人や来る人が減り、まちの元気がなくなっています。

そうした中心市街地を元気にするため、専門の支援員による街の活性化のお手伝いを行っています。また、商店街に来るお客さんを増やすため、無料駐車場の実験をおこなっています。

そのようなこまかい事業を実施することにより、街全体としての活性化を進めています。

ビジネススクール



1じかんむりょうたいしょうちゅうしゃじょう
1時間無料対象駐車場

えいさーのまちすいしんじぎょう

エイサーのまち推進事業

・・・約2,000万円

沖縄市で毎年行われる沖縄全島エイサーまつりは、歴史ある最も大きなエイサーイベントとして県内外に知られています。

この伝統あるエイサーをさらに町おこしに活用しようと、平成19年6月13日にエイサーのまち宣言を行いました。

「エイサーのまち」沖縄市を多くの人々に発信するため、様々なグッズ等の作成や配布、PR活動等を行っています。

- ①エイサーキャラクターがデザインされたオリジナルステッカーの作成・配布を行う。
- ②エイサーのまち沖縄市をイメージできるバナー、のぼりの設置。
- ③エイサー絵本を製作し、市内保育園、小学校、県内公立図書館や姉妹都市等へ配布する。
- ④市内関連施設内のトイレ表記をエイ坊、サーちゃんへ変更していく。
- ⑤沖縄市のエイサーキャラクターであるエイ坊、サーちゃんの着ぐるみを活かし、市内の様々なイベントに参加する。
- ⑥エイサー体験の受け入れや、市内青年会の県外派遣等のコーディネートを行う。
- ⑦エイサーグッズの開発や、グッズ販売店の拡大を図る。



エイサーまつり



みゅーじっくたうんすいしんじぎょう

ミュージックタウン推進事業

・・・約1,700万円

沖縄市は伝統芸能やアメリカ文化などの影響を受け、いろいろな音楽・芸能文化が発展してきました。そこで、これらの音楽・芸能文化を活用して、まちを元気にするために「音楽によるまちづくり」に取り組んでいます。

音楽のまちの拠点施設であるコザミュージックタウン前を会場にして行う音楽イベント「音のページェント」の開催や、沖縄市を中心に3日間にわたり開催される沖縄国際アジア音楽祭の開催を支援しています。

年間を通じてコザミュージックタウン音市場での自主事業（音楽イベント、人材育成講座等）を展開しており、音楽を通じたまちの賑わいづくりを目指した事業を行っています。

ミュージックタウン



やきゅうじょうせいびじぎょう

野球場整備事業

…約9億7,900万円

沖縄市野球場は、県内で数少ない本格的な野球場として昭和48年に建設され、那覇市の旧・奥武山球場と並んで数々の高校野球の舞台等となってきました。しかし、建物がとても古くなっているため、野球大会などを開催することが難しくなっています。

そこで、現在の野球場を新しく建て替える事業が始まっています。新しい野球場はグラウンドが大きくなり、ナイター照明を設置し、スコアボードやスタンドも新しくなる予定です。

沖縄本島の真ん中であって、北部や南部からも足を運びやすい沖縄市にある野球場が新しく生まれ変わり、沖縄市だけでなく沖縄県の野球競技の拠点となるよう期待されます。



やまざとだいいちちくしがいちさいかいはつそくしんじぎょう

山里第一地区市街地再開発促進事業 ・・・約8,500万円

当地区は、国道330号と県道24号線が交差する山里三叉路の一角に位置しています。地区内は、老朽化した住宅が密集し、道幅も狭く、生活環境及び、火災等の防災面にも課題があります。このため、高層建築物に建て替えを行い、住宅や商業施設、広場等を整備し、安全で快適なまちに寄与する事業です。



こくどう330ごうえんせんとちりようとうすいしんじぎょう
国道330号沿線土地利用等推進事業
・・・約6,680万円

沖縄市の胡屋十字路からコザ十字路までの大通りは、国道330号といい、国が管理する道路です。通常、車道や歩道等の幅は利用者の数によって決定されていますが、この地域は交通量が増加しており、現在の車道幅ではスムーズに車が通ることが出来ず、渋滞・混雑が深刻化しています。

また、この地域は沖縄市の発展に欠かせない中心市街地の商業地域でもあります。

この事業では、渋滞・混雑の解消や歩行者が安心して利用できることを目的として、車道や歩道の幅を大きくするよう国にお願いをすると同時に、沖縄市の発展のために道路沿いのまちづくりを進めていきます。

現在、コザ十字路では道路幅を大きくする改良工事が行われており、一部の建物が撤去され道路として利用されていますが、建物が撤去された道路以外の残った土地を、この事業でイベント広場や緑地空間を作ることにより、コザ十字路地区の魅力向上や賑わいを生み出します。



ちゅうしょうきぎょうじんざいいくせいしえんじぎょう

中小企業人材育成支援事業**…約1,200万円**

「企業は人なり」などと言われるように、企業が発展していくためには企業で働く人が成長することが大切です。

中小企業人材育成事業では、市内中小企業者及びその労働者の技術力や商業力向上を目的としたセミナーを行い、人の成長、企業の成長を支援しています。

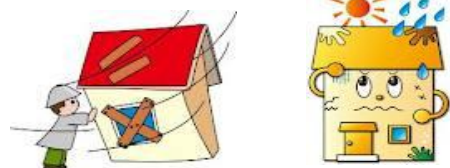
また、英語通訳や翻訳を行える人材を配置し、米軍基地から発注される建設工事や物販の受注支援サポートを行っています。

じゅうたくりふおーむしえんじぎょう

住宅リフォーム支援事業**…約5,700万円**

この事業は、現在の厳しい経済・雇用状況が続く中、沖縄市の緊急経済対策の一つとして、市民が自己の居住する住宅を、市内の工事関係業者を利用し、修繕・補修、耐震補強・バリアフリー化等の住宅リフォーム工事を行う場合に、経費の一部を補助することを行っています。

これにより、低迷している市内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を図るとともに、市民の住環境の向上に役立てます。



ちいきぶらんどすいしんじぎょう

地域ブランド推進事業

・・・約1,400万円

地域ブランドとは、特産品や観光地など実態のあるものだけでなく、“食べ物がおいしそう”とか“海がきれい”などのイメージを連想させる地名や地形、その他の資源を地域ブランドといいます。また、地域名と商品・サービス名がむすびついたブランドネームが典型的です。

この事業では、沖縄市で将来の地域ブランドを目指す、さまざまな事業者を応援しています。そのひとつとして、特産品などに地域ブランド（コザスター・コザチョイス）の認定をして応援するしくみをつくっています。

ちばなはなおり
知花織



コザクリエイション
地域ブランド認定制度

コザスター
KOZA star

あぐりびじねすすいしんじぎょう

アグリビジネス推進事業

・・・約400万円

沖縄市の北部は、みどり豊かな森が広がり、その周辺では、くだもののマンゴーやびわ、花の小ぎく、畜産などの農業（アグリカルチャー）が盛んに行われています。沖縄市アグリビジネス推進事業は、その北部地域において、農業による健康づくりや農業体験学習などで、市民の方々と交流や農業とその他の産業の方々（商業者・製造業者・観光業者など）との連携（農商工連携）を行い、農業関連の新しい仕事（ビジネス）を生み出し、沖縄市北部地域の発展を目指すものです。

びわ

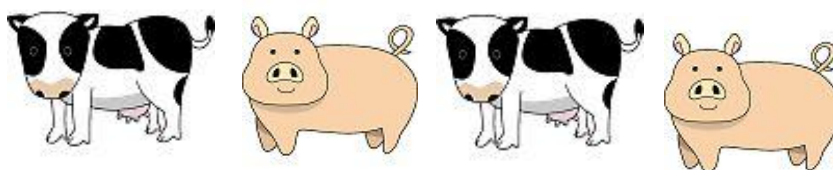


拠点産地品目

マンゴー



小ぎく



こくさいこうりゅうじぎょう

国際交流事業・・・約3,100万円

外国人市民との交流や海外のウチナンチュネットワークの構築、国際性をもった人材の育成を目的とした事業です。

多言語による外国人市民の生活相談や外国人市民と日本人市民の交流の拠点としてコザインターナショナルプラザ（KIP）の運営を行っています。コザインターナショナルプラザでは、その他にも語学講座や国際交流サロン、外国人市民が日本人と気軽に交流しながら、日本語を学べる「ゆんたく交流会」等の事業を行っています。

また、市では海外姉妹都市である米国ワシントン州レイクウッド市の大学・短期大学へ通う留学生への助成や沖縄市出身で海外へ移住した方の三世、四世等を研修生として受け入れ、幅広く沖縄の文化を学ぶ研修制度をもうけています。

たぶんかきょうせいすいしんじぎょう

多文化共生推進事業・・・約400万円

沖縄市に住む外国人と日本人、両方の市民がお互いを理解して、同じ義務を果たし、同じサービスを受けることができるよう、国籍に関わらず、「誰もが住みよいまちづくり」を目指しています。

外国人の為の相談窓口として、英語と中国語に対応できる相談員を配置している他、いろいろな手続きを外国語で翻訳した「リビングガイド」の発行や、市の広報誌を毎月英語と中国語に訳して発行しています。また、通訳ボランティアの募集をして、スキルアップ講座を実施しながら、必要に応じて通訳をお願いしています。

5

都市基盤の整備

かんこうちしゅうへんどうろせいびじぎょう

観光地周辺道路整備事業

…約430万円

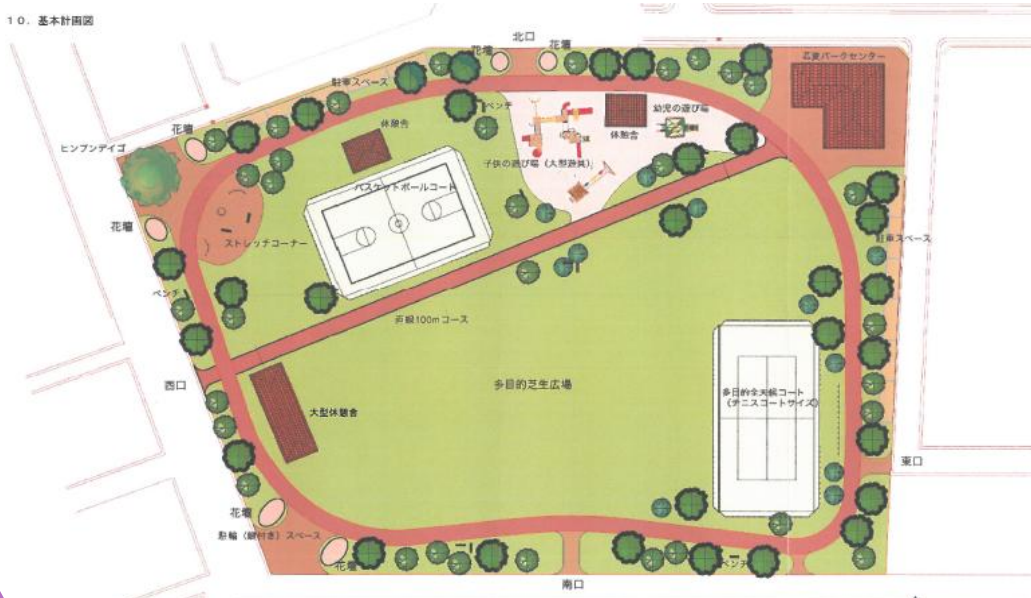
観光地のまわりを通る道路を魅力的な風景にするため、まちなかにおける 街路樹や街路灯の整備に取り組んでいます。

こみゅにていぱーくせいびじぎょう

コミュニティパーク整備事業

…1,200万円

区画整理等により生み出された未整備の公園を、地域コミュニティやこどもの情操教育及び健康づくりの場になるよう整備します。



とうぶかいひんちくかいはつじぎょう

東部海浜地区開発事業・・・1,900万円

スポーツコンベンション拠点の形成を目標とした土地利用計画を実現するため、平成25年度は海域の利用状況やレジャー資源の把握などをおこない、マリンレジャー活動の可能性を検討する調査をおこないます。

また、泡瀬干潟の観察会などの環境利用学習もおこなっております。



こうきょうげすいどうじぎょう

公共下水道事業・・・約2億8,400万円

公共下水道事業は家庭、工場、事務所などで排出される生活雑排水やトイレで使用された汚水をきれいな水に処理する最終処理場へ運ぶ役割を担っています。最終処理場で処理された水は海や河川の公共水域へ放流されるため、自然環境にやさしく清潔で快適な生活環境を確保できます。

沖縄市の公共下水道は95%の普及率となっております。



どうろきょくほじょじぎょう

道路局補助事業・・・2億9,600万円

この事業では、市中部地域と市東部地域を結ぶ重要な幹線市道である市道国税庁西側線を整備しており、当該地域を往来する際の慢性的な交通渋滞を解消することを主な目的としております。

この路線は市内最長となる橋梁（L＝346m）も含んでおり、現在、平成25年度での完了に向けて取り組んでおります。



12. よさんがワカッタ！

ここまで来ればきみも、よさんがワカッタ！よね？
むずかしくてややこしそうな「予算」だけど、中身をのぞいてみると、とっても大事なもののなんだったことがわかったはず。

みんなから集めたお金が「予算」になって、学校や道路、公園を作ったり、家から毎日出るごみを集めたり、災害や火災から守っているんだ。

だからこれからも自分たちが出したお金が、何に使われているのかをちゃんと知って、これから自分たちが何に使いたいのかをみんな決めていこう！そして、自分たちの住むまちをもっともっと安全で住みやすいまちにしていこう！





MEMO

エイサーのまち沖縄市 I ♥ OKINAWA CITY. THE CITY OF "EISA"



でーじわかりやすい！ よさんのはなし

発行：沖縄市企画部財政課

〒904-8501 沖縄市仲宗根町26番1号

TEL:098-939-1212 FAX:098-934-3830

URL: <http://www.city.okinawa.okinawa.jp>

またや～



エイサーのまち沖縄市 I ♥ OKINAWA CITY. THE CITY OF "EISA"

